



EIZO®

CASE STUDY

大阪府立中河内救命救急センター様



「なぜ色々なモニターを  
使うのか」



大阪府立中河内救命救急センターは  
2010年4月に完全フィルムレス化を実現しました。  
塩野所長、三上技師長、そして中村主任に、  
ナナオ製EIZO RadiForceモニターの選定理由や  
導入効果についてお話をお伺いしました。

「水で洗淨する」手術室ならではの  
使用勝手を懸念していたが、シャー  
カステンに取り付けてあった壁棚を  
活用した、モニター、PC、マウス、キー  
ボードを含めた設置をナナオが提案。

#### 導入背景

### 撮影技術の革新に伴い高まる フィルムレス運用への要求

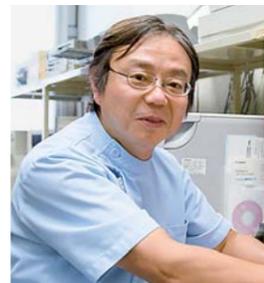
塩野所長 フィルムレス移行へのきっかけは、MDCT（マルチディテクターCT）の導入です。1回の検査撮影で作成する画像が2,000枚と膨大な量に膨らんでいました。救急医療では適切かつ迅速な対応が求められるにも関わらず、診療の要となるフィルムの取り扱いが、医師、看護師、技師、全員にとって負担となっていました。フィルムレス運用への要求は自然と高まっていき、2008年3月にPACS導入の検討を開始しました。

#### 選定理由

### 豊富なバリエーションから 最適モニターを提案する営業力

三上技師長 PACSベンダーの営業担当者にモニターについて尋ねると、ナナオのモニターが良いという返答だったので、早速、その年の国際医用画像総合展ITEMに実機を見に行きました。

中村主任 モニターメーカーの各ブースを回ってモニターを比較して見たところ、ナナオのモニターが一番映りが良く、バリエーションが豊富でした。さらにモニター品質管理ソリューションの提案もあり、総合的に判断した結果、ナナオ製のDICOM Part 14に準拠したEIZO RadiForceモニターで揃えることに決めました。



塩野 茂氏  
所長 医師



三上 秀樹氏  
放射線室 診療放射線技師長



中村 賢二氏  
放射線室 主任診療放射線技師

#### 導入効果

### 救命の可能性を高める 診療の迅速性に貢献

三上技師長 合計28台のモニターを導入して実現した2010年4月の完全フィルムレス化以降、フィルムを扱う煩雑さから、完全に解放されました。

塩野所長 大量の画像データの中から見たい画像を、必要に応じて見たい場所でマウスの操作のみで表示できる、という作業の容易さを実感しています。また手術室などに導入した大型モニターは細かい箇所まで確実に見えるので、治療上とても有用です。

中村主任 救急搬送されてきた患者の診断は、患部を撮影し、その画像が医師のもとに届いて初めて実施できます。この治療までの時間は短ければ短いほど救命の可能性は高くなり、PACSのサーバから撮影画像をモニター上に瞬時に呼び出し表示できることは、迅速性を求められる救急医療において大変役に立っています。

「**適材適所、用途に合わせて  
モニターを使い分ける。**」



#### ICUナースステーション

2MP/21.3型 カラーモニター

急性期の患者は経時的な変化が著しく、さまざまな検査の画像を表示するため、モノクロ画像もカラー画像も適正に表示できる高精細カラーモニターを設置。



#### 初療室

2MP/21.3型 カラーモニター

2面構成を2セット設置することにより、患者が2名同時搬入の際にも対応可能にした。医師・看護師が主に操作するので、一貫性も重視し、同じ鮮鋭度や性能を持つモニターを設置。



#### 病棟ナースステーション

2MP/21.3型 カラーモニター

仕事の流れや作業空間を熟知している看護師と相談しモニターの設置場所を決めた。初めに2面のモニターを導入し、看護師がPACS操作に慣れ戸惑いもなくなった後、モニターを増設。



#### 放射線室

3MP/20.8型 モノクロモニター

読影担当医師が利用するモニターは、高解像度・高輝度などの性能を重要視したモニターを2面構成で使用。



#### モニターの品質管理

2.3MP/24.1型 カラーモニター

全モニターにClip-On Swing Sensor G2を取り付け、輝度、階調チェックをリモート実行。品質状態に問題がないかネットワーク品質管理ソフトウェアRadiNET Pro Liteで集中管理。



#### 手術室(2室)

2MP/52型 大型モニター

手術室内にいる全員が画像情報を見る必要があるため、多くの情報を同時に表示でき、離れた位置からでも参照できる大型モニターを選定。PACSの一環であるのでDICOM Part 14準拠は必須。



#### カンファレンス室

2MP/52型 大型モニター

救急はチーム医療であり、たくさんの目でチェックする必要があるカンファレンス室には、大きな画面で同時に多くの情報を表示できるDICOM Part 14準拠の大型モニターを2面設置。



#### CT操作室

4MP/29.8型 カラーモニター

CT検査は、X線画像や過去のCT画像と比較し撮影も診断も行う。多くの情報を同時に表示する必要があり、CT操作室が狭いため、400万画素の情報をベゼルレスで1面に表示できるモニターを導入。



#### 放射線室(検像用)

2MP/21.3型 カラーモニター

PACSモニターで表示できる全てのモダリティ画像に対応するため、モノクロ画像もカラー画像も適切に表示可能なカラーモニターを設置。



## 大阪府立中河内救命救急センター

〒578-0947 東大阪市西岩田3丁目4番13号  
<http://www.nmcam.jp/>

東大阪市、八尾市、柏原市から成る中河内医療圏の救急医療の中核として、平成10年5月に設立された独立型の救命救急センターです。救急隊搬送と他病院からの紹介による三次救急患者（重度外傷、脳卒中、心筋梗塞、急性呼吸不全、各種ショックなど）のみを受け入れており、当院での集中治療で病状が安定した時点で患者は後送病院へ転院するシステムにより、30床の規模ながら、日々、救急患者を収容することを可能にしています。



### 株式会社ナナオ

〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

<http://radiforce.com/jp/>

製品に関するお問い合わせ 営業時間 月～金 9:30～17:30 (祝祭日、弊社休業日を除く)

**営業1部メディカル課 03-5715-2014**

仙台営業所 022-212-8751 名古屋営業所 052-232-7701 北陸営業所 076-277-6790  
大阪営業所 06-4807-7707 広島営業所 082-535-7701 福岡営業所 092-715-7706

Copyright © 2011 EIZO NANAO CORPORATION. All rights reserved. Printed in Japan, 1, 2011, 2K (110105)